

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878

### 3 気のカを子供達に

サ化育は子ども達を育む。

気象はその昔ながら面白い調査をやっていた。1960年代までの一時期、住民が夏服冬服について着替えいつやめるのかといったの使い始めと終わりはいつか...といったことを各地で断る。生活本節観測しを試みていたのだ。蚊帳や火鉢も対象だったという。職員が通勤時に街のセラー・マセロの服を眺めたり、周囲の家庭の様子を見聞きしたりして判定したそう。2割の人が用いはじめた日を「初日」と割り人がやめた日を「終日」とした。近年の秋の暑さはそんな飛ぶにまつろわず半袖短パン姿をあちこちで見たり。地球温暖化は酷暑の夏を際立たせるだけでなく涼秋を奪ってしま



▲ 柏井保育園



▲ 川南保育園



▲ 藤地保育園



▼ 川南保育園

エコナ禍の中で今求められているものは、それは孤独の感性である。今はゆからないか50歳過ぎると身に強くあたってくる。草木を育むことは基本の一つだと思えます。知らないうちに身体の一部がおぼえていっているのです。3つの気が必要になる。の元氣①根氣②勇氣③子氣がしっかりと出来れば、何事も成功するでしょう。

保育園では基本となる花育、食育、木育、坐禅、清掃

